

学校通信

学校教育目標：「社会人基礎力の育成」



令和2年5月15日 第4号 四万十町立大正中学校

3年生道徳の授業より 「iPS細胞で難病を治したい」

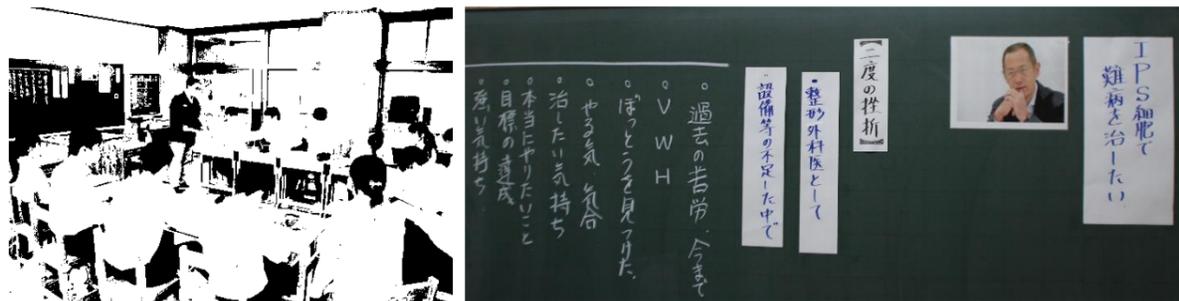
3年生では2回にわたり、ノーベル生理学・医学賞を受賞された山中伸弥さんのお話を題材にして授業を行いました。山中伸弥さんは世界で初めてiPS細胞(人工多機能性幹細胞)をつくり出すことに成功し、医療や新薬の開発に大きな希望を与えてくれました。元々は整形外科医を目指していましたが、自身の治療技術や現代医学の限界を感じ、重症患者や難病を根本から治療するためには基礎研究をしなければならないと考え、その研究に没頭していきました。数々の苦難を乗り越えついにiPS細胞をつくり出したのです。1回目の授業では「自分を見つめ個性を伸ばす」というテーマで、2回目は「夢の実現」というテーマで議論しました。

「個性を伸ばすために取り組んでいきたいこと」

- ・コツコツ取り組み諦めずに頑張りたい
- ・失敗を恐れず挑戦すること
- ・自分の事を考える
- ・いろんな人にやさしく接し困った時も落ち着いて冷静に対応できるようにする
- ・逃げない
- ・前向きに取り組んでいく
- ・常に自分が他人にできる良いことを考えて行動する
- ・何事も一生懸命でやる
- ・逃げずにあたって砕ける
- ・やるからには全力で
- ・長所を生かす
- ・新しい経験を積んで心(魂)を育てる

「夢の実現に向けてどんなことが必要か」

- ・気持ち
- ・目的
- ・努力
- ・目標を見失わない
- ・気合
- ・信頼
- ・行動する力
- ・計画
- ・諦めない
- ・目標や信念



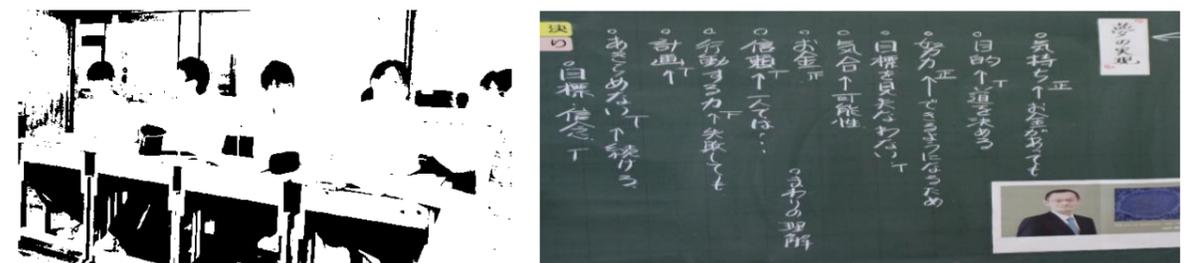
山中伸弥さんの生涯の目的、使命は多くの難病に苦しむ患者を救うことだと資料から読み取りました。使命と呼べる大きな目的があったので、様々な困難があっても諦めることなく自分の道を進んでいけたのだと私は感じました。3年生のみなさんはどのように感じ取ったのでしょうか。

前回の学校通信で私の考えを述べさせて頂きましたが、私は「目的」と「目標」は違うものだと捉えています。「目的」は進むべき方向を示し、「目標」はその目的に向かって進むための「道しるべ」と考えています。ですので目的に向けて進むとき、その時々で目安となる目標を設定するように使い分けています。山中伸弥さんのように人生の目的(使命)をもち、それに向けて一步一步進めるようにその時々に応じた目標を設定する。そうすれば、目標を1つずつ達成していくと着実に人生の目的(使命)に近づけて行けるのです。

今回、コロナウィルス感染症予防のため、各スポーツ競技大会や文化的イベントが次々と中止になり、関わっている人々の目標が無くなっていますが、私はしっかり目的をもっていれば、やがて新たな目標を見つけることができると信じています。スポーツや文化的活動を楽しむことであったり、その活動を通して人との関係性を築いたり、自分を成長させることであったり、様々な目標を設定したりすることができます。目的がある以上、希望の灯は消されることはありません。

また、中学生の皆さんにとって進路を考えていくうえで大切な時期だと思います。「自分の使命」を考えたり、どんなことで世の中に貢献できるのかじっくり考えてもらいたいと思います。そのためにも自分をしっかり見つめ、「自分とはどんな個性を持っているのだろう」そして「何が出来て、どのように貢献していけるのだろう」と考えをめぐらしてもらいたいと思います。

学校ではこのような道徳の授業を行っています。ぜひ、ご家庭でも道徳の内容を子どもと一緒に語り合い、子どもの長所や得意なこと、そして生き方について考えるきっかけにいただければと思っています。子どもの将来について、希望をもって語り合えたらいいですね。(川村拓也)



中間テスト日程変更について

コロナウィルス感染症予防のため臨時休校措置を行ったことにより、日程が変更しております。詳しくは後日学校長からの通信等をお配りしますが、取り急ぎ中間テスト期間と中間テスト実施日をお知らせします。

中間テスト週間：5月28日(木)～6月3日(水)

中間テスト実施：6月4日(木)～6月5日(金)